





人体への電気ショックの危険が考えられる製品筐体内の非絶縁「危険電圧」の存在をユーザーに警告するものです。  
製品に付属している説明書に記載の重要な操作およびメンテナンス(サービス)要領の存在をユーザーに警告するものです。

注意: 電気ショックの危険あり — 開けないでください!



注意: 電気ショックの危険を低減するため、カバーを外さないでください。内部部品はユーザーによるサービス不可。資格のあるサービス要因のサービスを要請してください。

警告: 電気ショックまたは火災の危険を避けるため、この装置を雨または湿気にさらしてはなりません。また、過敏など液体を含む物をこの装置上に置いてはなりません。この装置を使用する前に、警告事項について操作ガイドをお読みください。

---

## 安全のための重要事項

警告: 電気製品を使用するときは、次の項目を含め、基本的な注意事項を常にお守りください。

1. 本書の指示内容をお読みください。
2. 本書は保管してください。
3. すべての警告に注意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本装置を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れには乾いた布をお使いください。
7. 開口部をふさがないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、ストーブなど (アンプを含む)、発熱体の近くに設置しないでください。
9. 分極プラグや接地プラグの安全性を損なわないようにしてください。分極プラグの2つのブレードは、一方が他より幅広くなっています。接地式のプラグには2つのブレードと接地プラグがあります。幅広のブレードや接地プラグは安全のために付けられています。所定のプラグがコンセントなどに合わない場合、旧式のコンセントなどの交換について技術者に問い合わせてください。
10. 電源コードを踏んだり挟んだりしないように保護してください。特にプラグ、コンセント、装置から出る部分を保護してください。
11. 備品/付属品はメーカーのものを使用してください。
12.  カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、メーカー指定のもの、または装置とともに販売されているものを使用してください。カートを使用するときは、カートと装置を動かしたときに横転などでケガをしないよう注意してください。
13. 落雷の恐れのある嵐のとき、または長期間使用しないときは本装置の電源を外してください。
14. 保守作業はすべて資格のあるサービス担当者に依頼してください。保守作業が必要になるのは、装置が故障した場合、たとえば、電源コードやプラグが破損、装置に液体がかかる。物が落ちる、雨など湿度の影響を受ける、正常に動作しない、落下した場合などです。
15. グランドピン (接地ピン) は決して取り外さないでください。フリーブックレット「感電と接地」を入手してください。装置の電源コードの横に記載されているタイプの電源にのみ接続してください。
16. 本製品をラックに載せる場合は、背面を支持するものが必要です。
17. Note for UK only: If the colors of the wires in the mains lead of this unit do not correspond with the terminals in your plug, proceed as follows: a) The wire that is colored green and yellow must be connected to the terminal that is marked by the letter E, the earth symbol, colored green or colored green and yellow. b) The wire that is colored blue must be connected to the terminal that is marked with the letter N or the color black. c) The wire that is colored brown must be connected to the terminal that is marked with the letter L or the color red.
18. 電気機器に水がかからないようにしてください。花瓶など液体の入ったものを装置に置かないように注意してください。
19. オン/オフスイッチは、主電源のどちらの側も切断しません。オン/オフスイッチがオフ位置のとき、シャシー内部のエネルギー (高電圧) は危険なレベルにあります。主電源プラグまたは機器のカプラが切断装置になっています。切断装置はすぐに動作し使用できる状態にしておく必要があります。
20. 極めて高い騒音レベルは聴覚を永久に損なう原因になることがあります。騒音による聴覚障害の可能性は人によって異なりますが、十分に高い騒音を十分長い時間浴びた場合には、ほぼすべての人が何らかの障害を被ります。米国労働安全衛生庁 (OSHA) は、許容できるノイズレベル (騒音暴露レベル) を次のように定めています。

CE

1日当たりの時間	サウンドレベルdBA、スローレスポンス
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1½	102
1	105
½	110
1/4 以下	115

OSHAによると、上記許容限度を超える場合は聴覚障害の原因になります。騒音が上記限度を超える場合は、永久的な聴覚障害を避けるため、このアンプシステムの操作時に、外耳道または耳全体にイヤプラグやプロテクタを装着する必要があります。高音圧レベルによる危険な状態を避けるため、このアンプシステムのような高音圧レベルを出力する機器に触れる人はすべて、本機を使用中はプロテクタにより聴覚を保護することをおすすめします。

本書は保管してください!

6505<sup>®</sup>+**チューブギターアンプ**

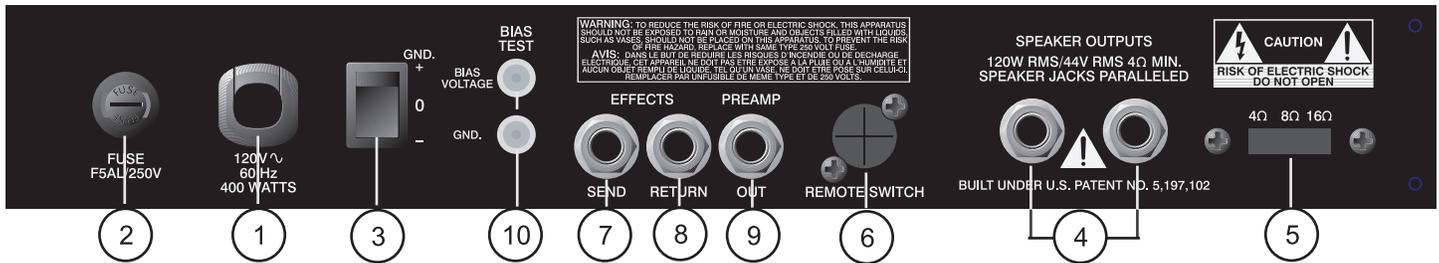
6505+ をお買い上げいただきありがとうございます。6505 ヘッドと同じく、6505+ は2チャンネルです。ただし、6505+ は別にEQ、レゾナンス、プレゼンスのコントロールを各チャンネルに加え、制御性と柔軟性を高めています。新しいフットスイッチは、チャンネルの選択、エフェクトループのフットコントロールができ、新たにクランチ機能を選択できるようになっています。足元で、リズムチャンネルのゲインをすぐに上げることができ、ギターから手を離す必要がありません。クリーンチャンネルが追加されています。設計を全面的に見直し、サウンドをクリーンにし、1つの12AX7 をクリーン/クランチ専用に使っています。

以下のガイドは、これらの機能と、目的のサウンドを得るためにそれぞれを操作する方法について説明しています。このマニュアルをよく読み、警告や注意事項には特に留意することをおすすめします。

**特徴**

- フットスイッチコントロール付き個別2チューブチャンネル
- 各チャンネルに LED “アクティブ” インジケータ
- リズムチャンネル用ブライトスイッチ
- フットスイッチコントロール付きリズムチャンネル用クランチスイッチ
- 各チャンネル用個別イコライザ部
- 各チャンネル用個別パワーアンプコントロール (レゾナンス、プレゼンス)
- 各チャンネル用個別プリアンプコントロール (プレ、ポストゲイン)
- スタンバイ電源スイッチ
- リアパネルにバイアステストポイント
- フットスイッチコントロールによるエフェクトループ
- 1/4" プリアンプ出力ジャック
- スピーカーインピーダンス選択スイッチ (4, 8, 16 オーム)
- 2つの1/4" パラレルスピーカー出力ジャック
- 出力120 ワット
- 取り外し可能 25' ケーブル付きメタル3ボタンフットスイッチ

## リアパネルの機能



### 電源

#### 1. ラインコード

このラインコードは AC 電源を本体に供給します。ラインコードは、接地した AC 電源に接続します。電源電圧が適合しない場合、本機が破損する可能性もあります。(本体の電圧表示を参照してください)ラインコードプラグの接地ピンは決して取り外したり切り離したりしないでください。



#### NOTE: FOR UK ONLY

As the colors of the wires in the mains lead of this apparatus may not correspond with the colored markings identifying the terminals in your plug, proceed as follows: (1) The wire which is colored green and yellow must be connected to the terminal which is marked by the letter E, or by the earth symbol, or colored green or green and yellow. (2) The wire which is colored blue must be connected to the terminal which is marked with the letter N, or the color black. (3) The wire which is colored brown must be connected to the terminal which is marked with the letter L or the color red.



#### 2. FUSE

**警告:** FUSE を交換する前には、必ず、電源コードを電源から抜いてください。fuse ホールダのキャップ内に5アンペアヒューズがあります。機器の破損を避け、また、保証が無効になるのを防ぐため、同じタイプ、同じ値のものと交換する必要があります。アンプによってfuseが繰り返し切れる場合は、指定サービスセンターに修理を依頼してください。

#### 3. GROUND SWITCH

3ポジションのロッカースイッチです。ほとんどの場合、中央の(ゼロ)位置で使用します。Ground Switch を中央にセットした状態でスピーカー外装からハムやノイズがある場合は、Ground Switch を正 (+) または負 (-) いずれかにセットしてハムを小さくします。ハム/ノイズが解決しない場合は、最寄りの Peavey ディーラー、Peavey 工場、または指定サービス技術者にお問い合わせください。

注: GROUND SWITCH は 220/240 ボルトモデルでは機能しません。

### 入出力

#### 4. SPEAKER JACKS

これらのジャックは、スピーカー外装(エンクロージャ)を接続するためのものです。スピーカーの最小インピーダンスは 4 オームです。これに応じてインピーダンスセレクトスイッチ (5) をセットしてください。

#### 5. インピーダンスセレクトスイッチ

このスイッチにより、Speaker Jacks (4) に接続されたスピーカーエンクロージャのインピーダンスを選択します。インピーダンスが等しい2つのエンクロージャを使用する場合、スイッチはその値の2分の1にセットします(たとえば16 オームエンクロージャが2つのとき:スイッチを 8 オームにセットします。8 オームエンクロージャ2つのとき:スイッチを 4 オームにセットします)。

#### 6. REMOTE FOOTSWITCH ジャック

付属のremote footswitchを接続するジャックです。フットスイッチケーブルは、アンプの電源を入れる前に接続してください。フットスイッチを「リモートフットスイッチ」ジャックに接続するとき、Channel Selectスイッチ (14) を「イン」位置にし、リードまたはリズムのチャンネル(右のフットスイッチボタン)をリモート選択します。エフェクトのオン、オフ操作(左のフットスイッチボタン)は常に有効です。クランチゲインブースト(中央のフットスイッチボタン)のリモート選択は、クランチスイッチ (22) が選択されているときのみ有効です。フットスイッチの詳細については9 ページをご覧ください。

## 7/8. EFFECTS SEND/EFFECTS RETURN

信号は、1/4" モノフォンプラグのシールドケーブルを使い、Effects Send (7) 出力からアウトボードユニットにパッチし、Effects Return (8) 入力に戻すことで、アウトボードエフェクトや信号処理のユニットに送られます。エフェクトループにはノーゲインのエフェクトデバイス (コーラス、リバーブ、ディレイなど) のみ使用します。フットスイッチを使用する場合、“Effects” を有効にするにはこれを選択 (LED 点灯) する必要があります。

## 9. PREAMP OUT

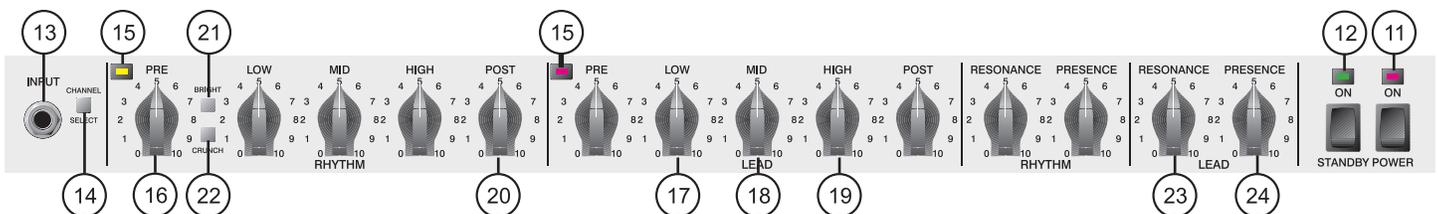
機器のシールドケーブルを使い、プリアンプ信号を 6505™+ からミキシングコンソール、テープレコーダーなどへ送るとき、この出力を使用できます。PREAMP OUT からのパッチは、アンプの通常の動作に影響を与えません。

## バイアス調整システム

### 10. BIAS TEST 端子

これらの端子は、グリルの後ろの調整ノブとともに、パワーアンプチューブの bias を測定、調整するためのものです。bias 調整は、資格のある技術者のみ行えます。

## フロントパネルの機能



## ON STANDBY

### 11. POWER スイッチ/LED

本体に電源を供給するスイッチです。“ON” 位置にすると、電源が本体に供給され、Power スイッチの上の赤色電源 LED インジケータが点灯します。

### 12. STANDBY スイッチ/LED

このスイッチは、6505+ を非動作スタンバイモードにします。この Standby スイッチが有効なとき、チューブは暖かいままで、すぐに動作する状態なので、ウォームアップ時間がかかりません。アンプが動作モードのときは、スイッチの上のスタンバイ LED インジケータが点灯します。

## プリアンプ

### 13. INPUT

6505+ 入力ジャックは、ピックアップの構成にかかわらず、さまざまなギター出力レベルに対応するように設計されています。6505+ はゲインがかなり大きいので、ノイズを最小にするため、高品位のシールドケーブルを使用することは必須条件です。

### 14. CHANNEL SELECT スイッチ

このスイッチは Rhythm または Lead チャンネルを選択します。スイッチを “イン” にするとリードチャンネルが有効になります。Lead プレコントロールの隣の赤色 LED が点灯して、リードチャンネルがアクティブなことを示します。“アウト” 位置のとき、Rhythm チャンネルはアクティブで、Rhythm プレコントロールの横の緑色 LED が点灯し、Rhythm チャンネルがアクティブなことを示します。チャンネルは、リモートフットスイッチを使って選択することもできます。リモートで選択する場合、チャンネル選択スイッチは “イン” 位置 (リードチャンネル) にセットする必要があります。11ページを参照してください。

### 15. チャンネル選択 LED

Rhythm チャンネルと Lead チャンネルは、これらの LED により、どのチャンネルがアクティブか示します。この2つのチャンネル選択 LED は、同時にオンになることはありません。そのインジケータが点灯しているチャンネルはアクティブなチャンネルです。

#### **16/20. PRE、POST ゲイン**

チャンネルの Pre (16)、Post (20) ゲインコントロールは、両方のチャンネルで同じように動作します。ただし、リードチャンネルは、Rhythm チャンネルよりもプリゲインが多くなります。ほとんどの場合、Rhythm チャンネルをセットするには、Pre ゲインを低い、“よりクリーンな”設定 (0-4) にし、Post ゲインを全体のボリュームにセットします。Rhythm チャンネルは、Crunch チャンネル (22) を有効にすることによって中間歪みチャンネルにすることができます。これにより2つのチャンネルの pre ゲインをより正確に一致させることができます。Lead チャンネルをセットするには、Pre ゲインを中間ないし上位の設定 (5-10) にし、Post ゲインを全体のボリュームにセットします。

#### **17/18/19. イコライゼーション**

6505+ のイコライゼーションブロックは、パッシブ low、mid、high EQ で、各チャンネルに合わせてカスタマイズできます。コントロールを反時計回りに調整すると、周波数バンド内の信号が減衰します。

#### **21. BRIGHT スイッチ**

トレブル周波数 (6 dB / 2 kHz) のプリセットブーストを有効にします。Rhythm チャンネルに対してのみ有効です。

#### **22. CRUNCH 選択スイッチ**

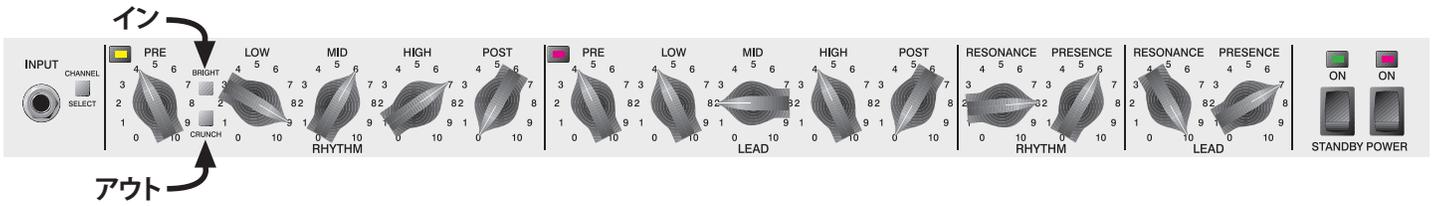
Rhythm チャンネルのゲインを上げ、中間歪みまたは中間音を作ります。“イン”位置にして有効にします。

#### **23/24. RESONANCE / PRESENCE**

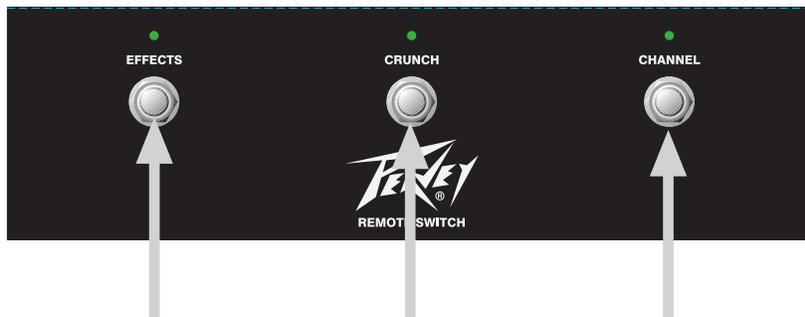
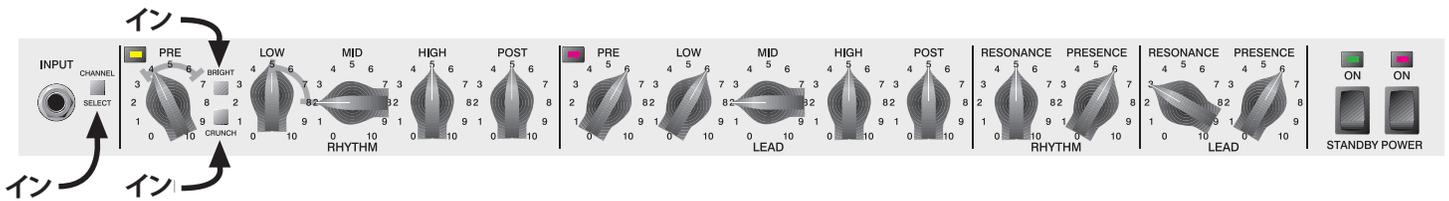
Peavey アンプ固有のResonance コントロール (23) は、スピーカーキャビネットの resonance/減衰ポイントで、パワーアンプのゲインを低周波でブーストするようにセットできます。簡単に言えば、Resonance コントロールは EQ のように働き、ローエンド周波数ドロップアウトを補正します。Presence コントロール (24) も同じように働き、高周波をブーストします。好みを考えながらスピーカーキャビネットを試してみると、これら重要なコントロールをどのように設定すればいいかわかるようになります。

# 6505®+ 推奨設定

## サザンロック/カントリー



## HP シグネチャ設定



スイッチが押されてLEDが点灯したときエフェクトループをアクティブ化

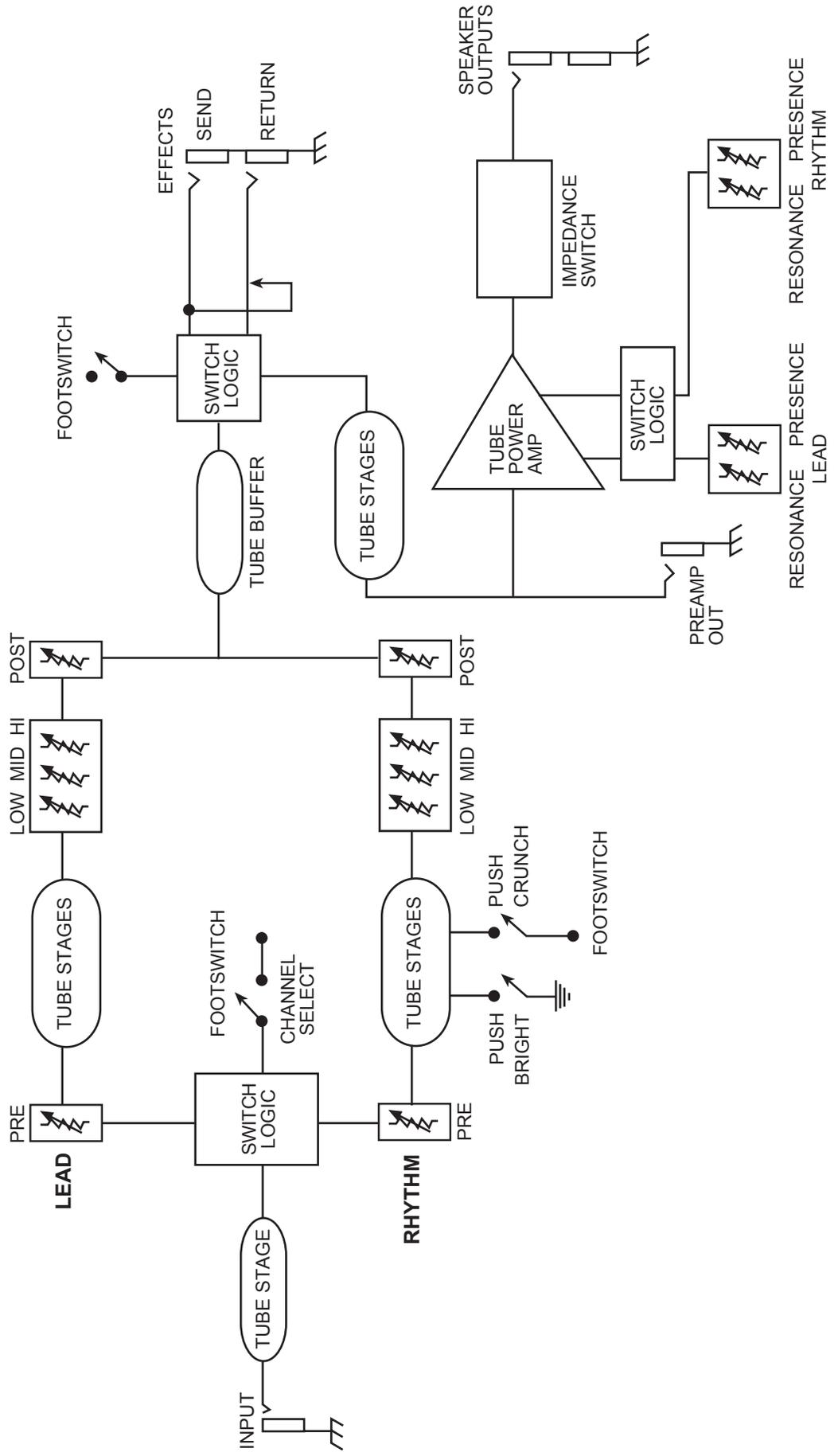
スイッチが押されたときリズムのクランチボイスをアクティブ化

\*リズム、リードのチャンネルを選択(切り替え)

スイッチはすべてプッシュオン/プッシュオフ。  
フットスイッチに瞬時スイッチはありません。

**\*注:**  
チャンネル選択スイッチ(14)を  
"イン"位置まで押し、このスイッチを有効にします。

# 6505<sup>®</sup>+ ブロック図



# 6505<sup>®</sup>+ 仕様

## パワーアンプ部

### 定格出力、負荷:

120 W RMS into 16、8、4オーム

### 出力 @ クリッピング:

(標準 @ 5% THD, 1 kHz, 120 V AC ライン)

130 W RMS into 16、8、4オーム (バイアス低減測定)

### 周波数応答:

+0、-3 dB、50 Hz - 20 kHz、@ 100 W RMS into 8オーム

### ハム、ノイズ:

75 dB 以上、定格出力未滿

### パワーアンプ EQ:

アクティブプレゼンス: +10 dB @ 2 kHz

アクティブレゾナンス: +10 dB @ キャビネット共振周波数

### 消費電力 (出荷元):

400 ワット 50/60 Hz、120 V AC (出荷元)

### チューブ関連:

6-12AX7 プリアンプチューブ (クリーン/クラッシュ用1、リード用3、EFX用1、フェーズスプリッタ用1 4-6L6GC)

## プリアンプ部

次の仕様は @ 1 kHz、コントロールを次のようにプリセットして測定したものです。

ロー & ハイ EQ @ 10

ミッド EQ @ 0

ブライトアウト

リード & リズムポスト @ 10

プレゼンス & レゾナンス @ 0 dB

公称レベル、プリゲイン @ 5

最小レベル、プリゲイン @ 10

### プリアンプ入力:

インピーダンス: ベリーハイZ、470 K オーム

#### リードチャンネル

(チャンネルセレクト イン):

公称入力レベル: -60 dBV, 1 mV RMS

最小入力レベル: -76 dBV, .15 mV RMS

#### クリーンチャンネル

(チャンネルセレクト アウト):

公称入力レベル: -30 dBV, 30 mV RMS

最小入力レベル: -34 dBV, 20 mV RMS

最大入力レベル: 0 dBV, 1.0 V RMS

(クラッシュスイッチインで24 dB マイナス)

### エフェクトセンド:

負荷インピーダンス: 47 k オーム以上

公称出力: -10 dBV, 300 mV RMS

### エフェクトリターン:

インピーダンス: ベリーハイZ、470 k オーム

設計レベル: -10 dBV, 300 mV RMS

### プリアンプ出力:

負荷インピーダンス: 47 k オーム以上

公称出力: +10 dBV, 3 V RMS

### リモートフットスイッチ:

LED インジケータ付き専用3 ボタンユニット (付属)

チャンネルセレクト & リバース

### Sシステムハム、ノイズ @ 公称レベル (クリーンチャンネル):

(20 Hz - 20 kHz ウェイトなし)

63 dB 以上、定格出力未滿

### イコライゼーション:

カスタムロー、ミッド、ハイパッシブタイプEQ

プッシュブライト (リズムチャンネルのみ)

+6 dB @ 2 kHz

プッシュクラッシュ (リズムチャンネルのみ)

ゲイン増加

### 寸法 (H x W x D):

10" x 26.625" x 11.75"

(25.4 cm x 67.6 cm x 29.8 cm)

### 重量:

48.3 lbs. (21.91 kg)

機能、仕様は予告なく変更されることがあります。





機能、仕様は予告なく変更されることがあります。

Peavey Electronics Corporation • 711 A Street • Meridian • MS • 39301  
(601) 483-5365 • FAX (601) 486-1278 • [www.peavey.com](http://www.peavey.com)

**80302592**